

2016年9月期連結決算

2016年11月1日

MRI 株式会社三菱総合研究所

1. 2016年9月期決算

2. 2017年9月期業績予想

3. 中期成長に向けて

2016年9月期 連結決算のまとめ

売上高：869億円 前期比 +15億円 (+1.8%)

- 民間向け売上の増加により、官公庁案件の前期反動減をカバー

経常利益：58億円 前期比 +0.6億円 (+1.1%)

- ITS：増収・稼働向上で大幅増益も、特殊要因（年金数理差異）で増益幅縮小
- TTC：固定費・投資経費の増加を主因に減益

純利益：34億円 前期比 △2億円 (△7.2%)

- 投資有価証券売却益の減少により減益

特殊要因を除きグループで実質増益基調。期末配当5円引き上げ

2016年9月期 連結決算

(百万円)

	15年 9月期	16年 9月期	前期比 増減額	増減率	公表予想 16/4/27	公表 予想比
売上高	85,354	86,904	+1,550	+1.8%	88,000	△1,095
売上原価	66,478	67,917	+1,438	+2.2%	-	-
売上総利益	18,876	18,987	+111	+0.6%	-	-
売上総利益率	22.1%	21.8%	△0.3P		-	-
販売費及び一般管理費	13,323	13,492	+168	+1.3%	-	-
営業利益	5,552	5,495	△57	△1.0%	5,800	△304
営業利益率	6.5%	6.3%	△0.2P		6.6%	△0.3P

売上高の 顧客業種別内訳

	前期	当期	増減額	増減率
官公庁	23,138	20,918	△2,220	△9.6%
金融・カード	36,460	37,806	+1,345	+3.7%
一般産業	25,755	28,180	+2,424	+9.4%

2016年9月期 連結決算

(百万円)

	15年 9月期	16年 9月期	前期比 増減額	増減率	公表予想 16/4/27	公表 予想比
営業利益	5,552	5,495	△57	△1.0%	5,800	△304
営業外損益	260	382	+121	+46.7%	-	-
経常利益	5,813	5,877	+64	+1.1%	6,150	△272
特別損益	416	151	△265	△63.6%	-	-
税金等調整前当期純利益	6,230	6,029	△200	△3.2%	-	-
法人税等	2,124	2,205	+81	+3.9%	-	-
非支配株主に帰属する当期純利益	413	398	△15	△3.7%	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	3,692	3,425	△267	△7.2%	3,550	△124
1株当たり当期純利益 (円)	224.83	208.55	△16.28	△7.2%	216.15	△7.60

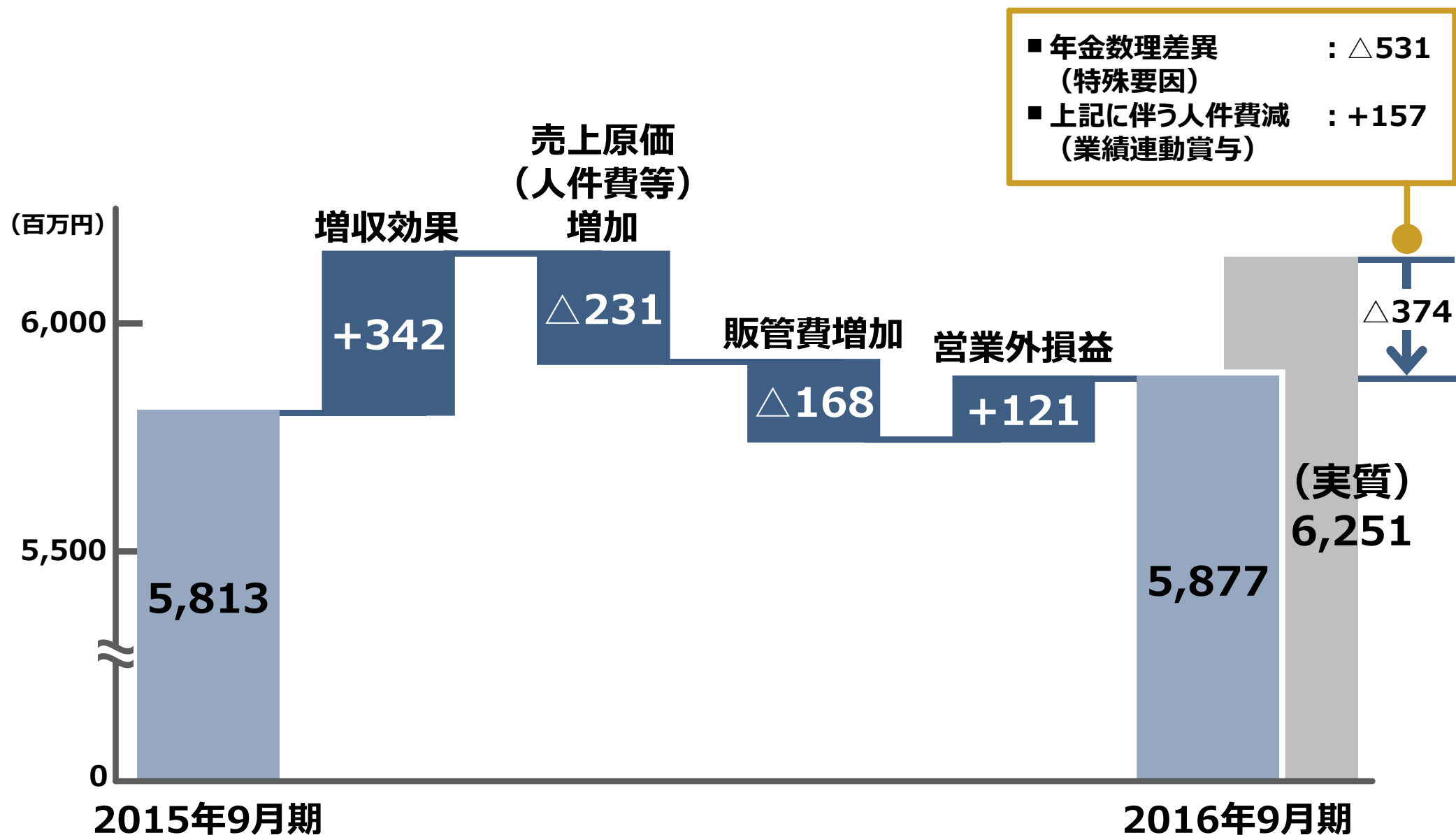
退職給付に係る年金数理差異 の経常利益影響額

	前期	当期	増減額
a 年金数理差異の発生	△88	△620	△531
b aに伴う業績連動賞与の減少	-	157	+157
c 差引影響額 [c=a+b]	△88	△462	△374

特別損益の前期比増減理由

	前期	当期	増減額
投資有価証券売却益	475	141	△334
事業譲渡益 (子会社の派遣事業)	-	97	+97
その他	△59	△87	△28

経常利益の変動要因 <前期比>



シンクタンク・コンサルティングサービス (TTC)

(百万円)

	2015年 9月期	2016年 9月期	前期比	
			増減額	増減率
売上高	35,030	33,014	△2,015	△5.8%
営業費用	31,558	30,280	△1,277	△4.0%
営業利益	3,471	2,734	△737	△21.2%
営業利益率	9.9%	8.3%	△1.6P	
経常利益	3,546	2,875	△670	△18.9%
受注高	32,591	34,185	+1,593	+4.9%
受注残高	22,975	24,145	+1,170	+5.1%

主なポイント

- 一般産業（電力、鉄道等）向け増加も、官公庁の大型実証事業案件の反動減により、減収
- 人件費や事務所賃借料等の固定費増加を吸収しきれず、減益
- 受注は官公庁向けを中心に案件が着実に積み上がり、順調

ITサービス (ITS)

(百万円)

	2015年 9月期	2016年 9月期	前期比	
			増減額	増減率
売上高	50,324	53,889	+3,565	+7.1%
営業費用	48,285	51,185	+2,899	+6.0%
営業利益	2,038	2,704	+666	+32.7%
営業利益率	4.1%	5.0%	+0.9P	
経常利益	2,231	2,931	+700	+31.4%
受注高	50,390	54,121	+3,731	+7.4%
受注残高	36,510	36,741	+231	+0.6%

主なポイント

- 電力会社の大型開発案件の通期貢献および大口顧客向けの持ち直しにより、増収
- 増収に加え、稼働向上や外注費等のコスト抑制が寄与し、大幅な増益
- 特殊要因の影響△3.7億円を除いた実力ベースの経常利益は、公表予想の32億円を上回る水準

1. 2016年9月期決算

2. 2017年9月期業績予想

3. 中期成長に向けて

2017年9月期 連結業績予想

売上高予想：900億円 前期比 +30億円 (+3.6%)

- **TTC：前期比 +9億円 (+3.0%)**
官公庁は重点政策分野で拡大、民間は事業革新・ICTイノベーションで伸長
- **ITS：前期比 +21億円 (+3.9%)**
カードのシステム統合本格化、メガバンク拡大、他の金融・電力等への多面展開

経常利益予想：67億円 前期比 +8億円 (+14.0%)

- **TTC：前期比 +0.2億円 (+0.8%)**
営業機能強化・研究開発拡充等によるコスト増で横ばい
- **ITS：前期比 +8億円 (+29.6%)**
増収効果と一層のリソース最適化による利益率向上

当期純利益予想：39億円 前期比 +4.7億円 (+13.9%)

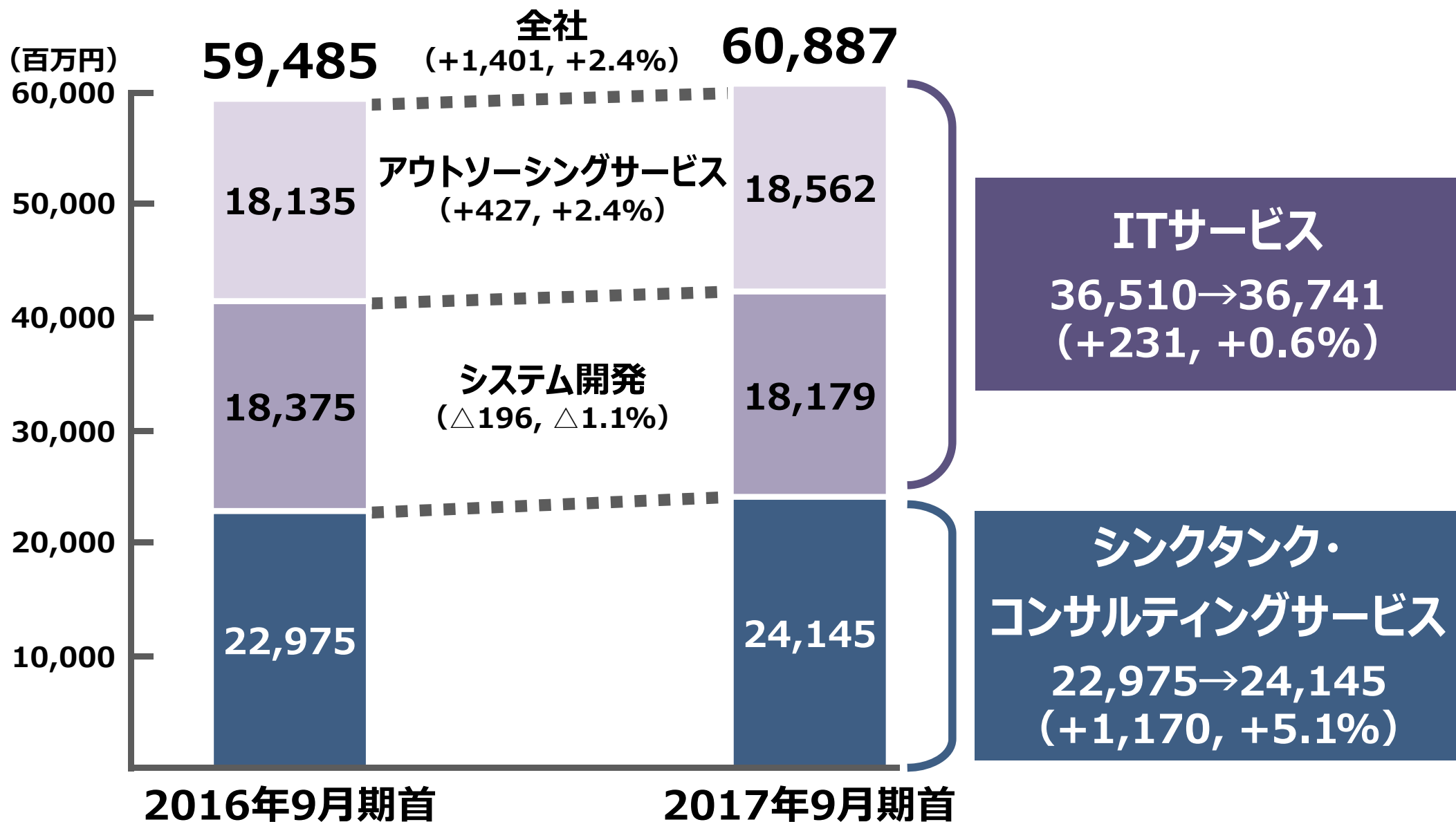
配当予想：70円（中間35円、期末35円） 前期比 +5円

2017年9月期 連結業績予想

(百万円)

	2016年 9月期実績	2017年 9月期予想	前期比	
			増減額	増減率
売上高	86,904	90,000	+3,095	+3.6%
シンクタンク・コンサルティングサービス	33,014	34,000	+985	+3.0%
ITサービス	53,889	56,000	+2,110	+3.9%
営業利益	5,495	6,300	+804	+14.6%
営業利益率	6.3%	7.0%	+0.7P	
経常利益	5,877	6,700	+822	+14.0%
シンクタンク・コンサルティングサービス	2,875	2,900	+24	+0.8%
ITサービス	2,931	3,800	+868	+29.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	3,425	3,900	+474	+13.9%
1株当たり当期純利益 (円)	208.55	237.46	+28.91	+13.9%

期首受注残高



2017年9月期上期 連結業績予想

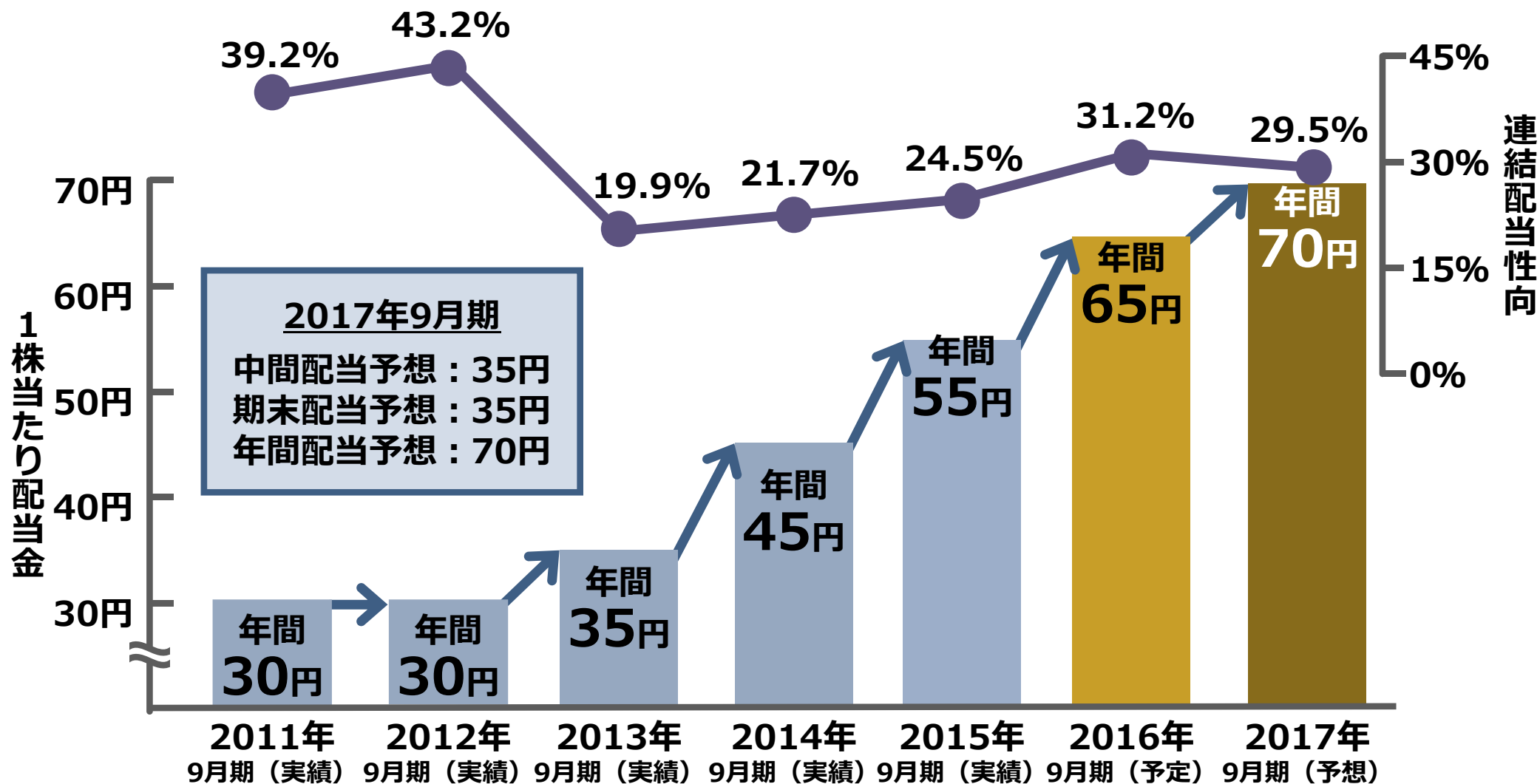
(百万円)

	2016年9月期 上期実績	2017年9月期 上期（予想）	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	42,195	43,000	+804	+1.9%
シンクタンク・コンサルティングサービス	14,917	15,400	+482	+3.2%
ITサービス	27,278	27,600	+321	+1.2%
営業利益	3,659	3,720	+60	+1.7%
営業利益率	8.7%	8.7%	△0.0P	
経常利益	3,846	3,900	+53	+1.4%
シンクタンク・コンサルティングサービス	1,890	1,900	+9	+0.5%
ITサービス	1,925	2,000	+74	+3.8%
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,246	2,300	+53	+2.4%
1株当たり当期純利益（円）	136.80	140.04	+3.24	+2.4%

2017年9月期 配当予想

配当方針

安定的な配当を継続的に行いながら、業績や財務健全性のバランス等も総合的に勘案しつつ、配当水準の引き上げを目指す



1. 2016年9月期決算

2. 2017年9月期業績予想

3. 中期成長に向けて

中期経営計画：基本方針

6年の計

人と組織の
持続的成長



- 価値創造と成長の共振
- すべてのステークホルダーに貢献

社会・顧客価値創造

- 課題解決・未来社会
- 顧客価値の増大

総合人財育成

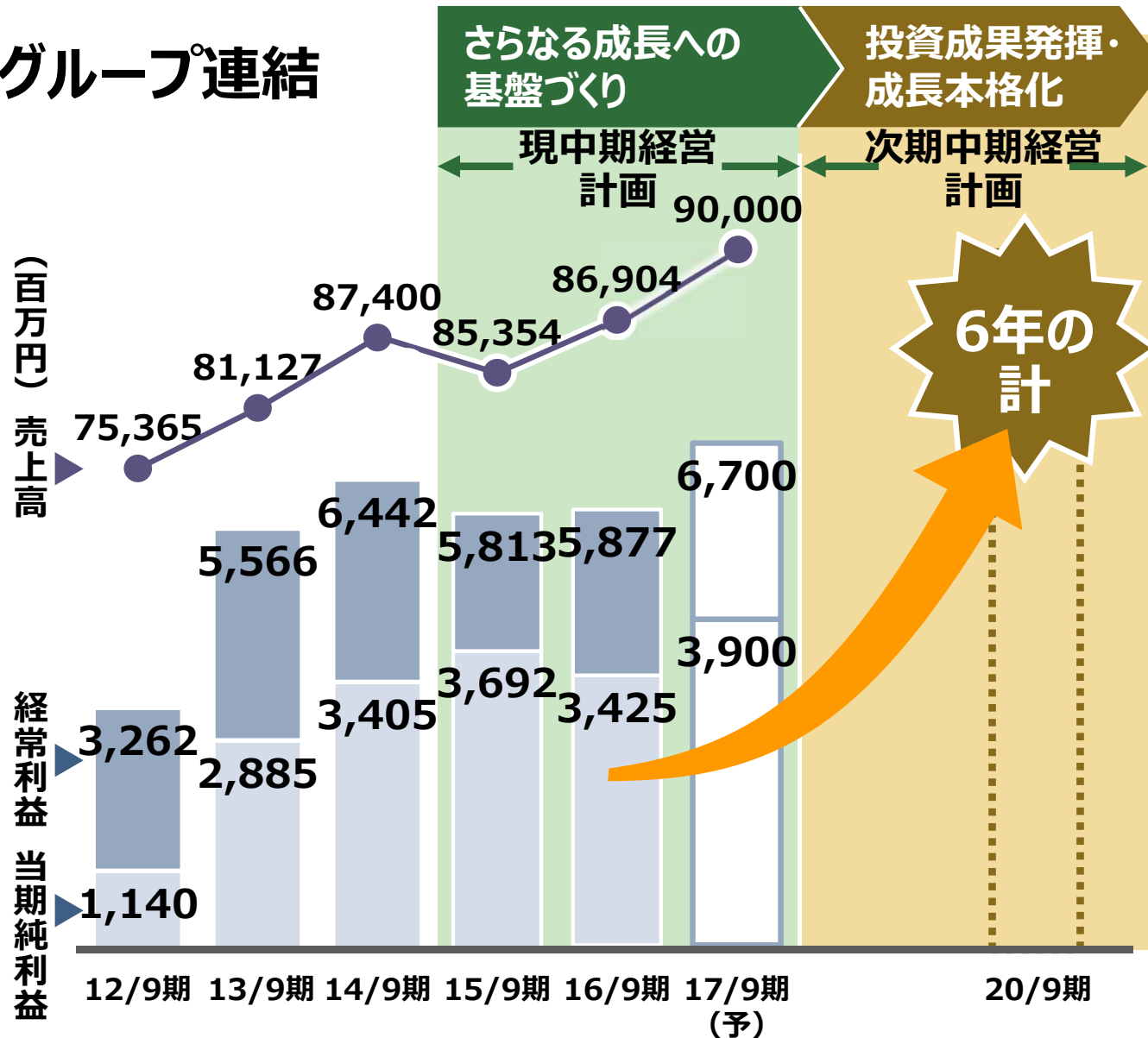
- 成長機会
- 明るい職場・就業環境

株主価値増強

- 収益・ROEの増強
- 株価・配当向上

中期経営計画：業績トレンド

グループ連結



17/9期売上高予想

900億円
前期比 3.6%



17/9期経常利益予想

67.0億円
前期比 14.0%



17/9期当期純利益[※]予想

39.0億円
前期比 13.9%



※ 親会社株主に帰属する当期純利益

2016年10月31日公表

中期経営計画：2年目の主な取り組み

事業戦略

構想力＋提言力の強化

現在の強みの伸長

新たな強みの追加

戦略的資本・業務提携

業績拡大のスピードアップ

- 地方創生、エネルギー、社会ICT等に集中
- クレジットカード向け大型開発案件本格化

成長ポテンシャルの高度化

- ものづくり工程革新などAI/IoT活用新サービス
- 業界大手と人事BPO合弁子会社設立

経営改善戦略

コラボレーション推進

人財育成・強化、働き方改革

品質生産性向上、
リスク管理・ガバナンス強化

連携・協業と先行投資の拡大

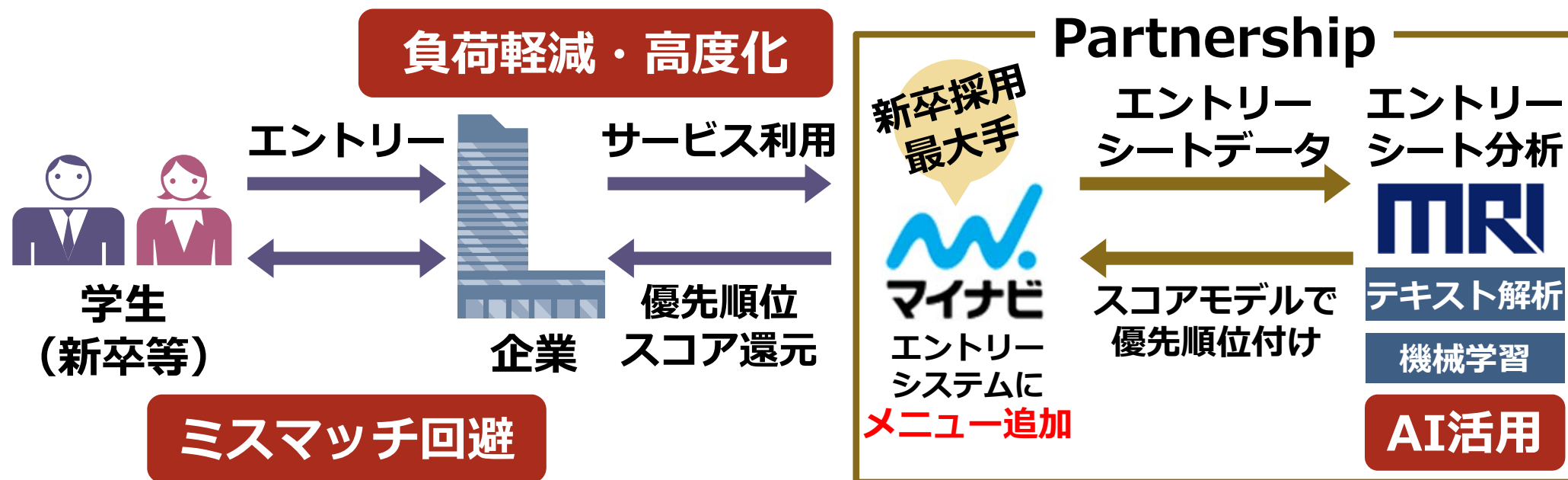
- MRI/DCS連携で電力改革大型SI案件展開
- JBS連携でクラウド活用新サービス
- 人財外部派遣拡充、テレワーク開始など

事例：AIを活用したHRTechサービス第一弾

(株)マイナビと連携、AIで企業の採用・研修・人財育成を支援

- マイナビの新卒エントリーシステムに、MRI開発のエントリーシート解析機能を追加
- 過去の採用データからAIが優先度診断モデルを構築、マッチングの精度を向上

事業スキーム概略



事例：「グローバルITガバナンス」支援サービス

(株)KDDI・(株)ラックと連携、海外進出企業のITガバナンス構築を支援

- MRI：セキュリティガバナンス、ITコスト適正化など、ITガバナンス構築支援に強み
- 強力な海外ネットワークを持つKDDI社を窓口にも、各社サービスをワンストップで提供、海外進出企業のグローバルITガバナンス確立をサポート



KDDI



セキュリティ



三菱総合研究所



コンサルティング



ラック



IT・NWインフラ

中期経営計画：3年目の重点テーマ

⇒ 「人と組織の持続的成長」のスピードアップ

1. 選択と集中

- 成長分野・先端技術活用へ資源・施策を集中

2. Think & Act

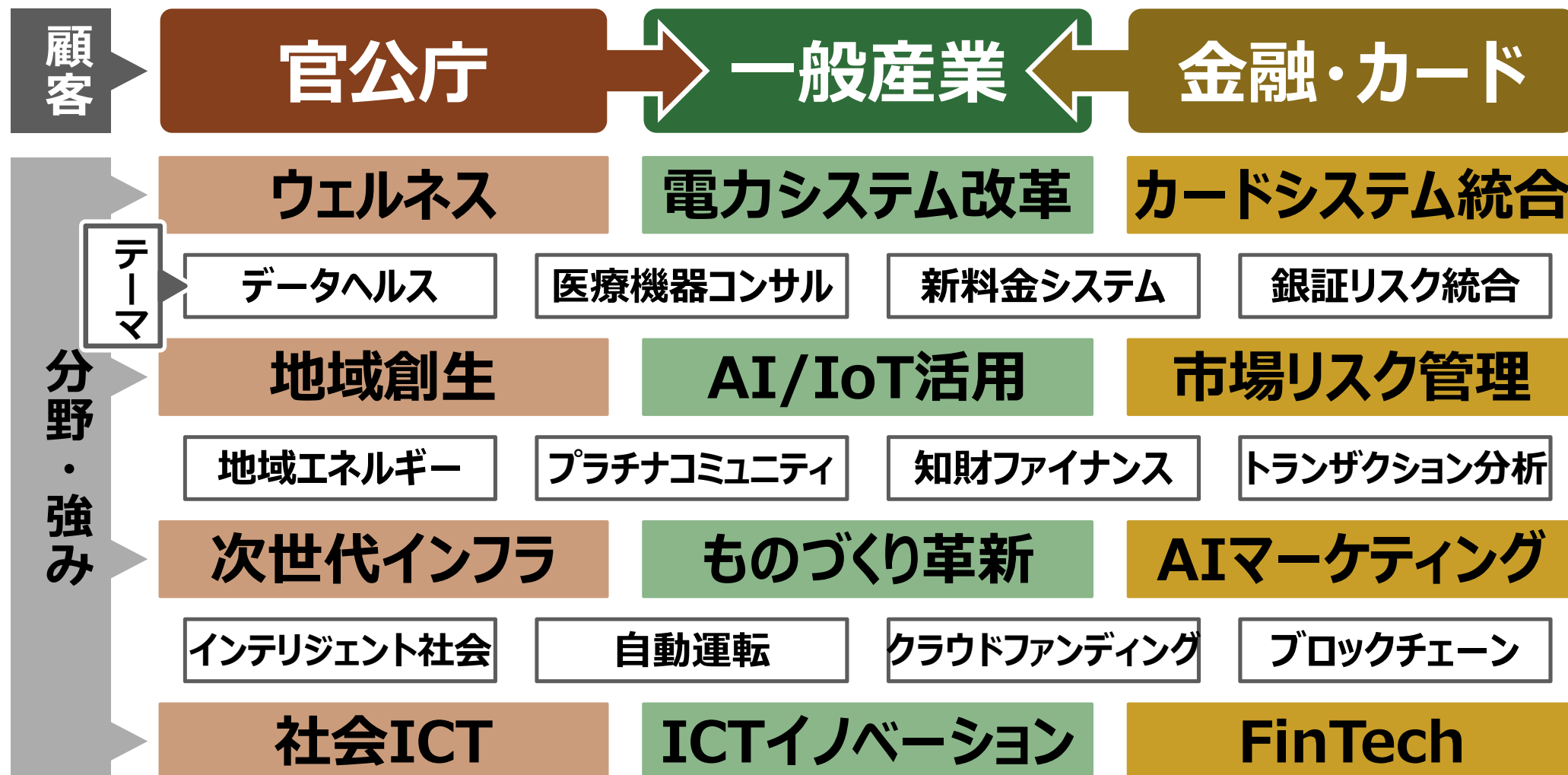
- 構想力・研究開発力を発揮
- グループ連携（バリューチェーン）による事業共創

3. オープンイノベーション

- MRIの産官学ネットワーク+ビジネスパートナー連携
- 未来共創イノベーションネットワーク（MRIエコシステム）

選択と集中による事業機会拡大

社会潮流・先端技術を先取りした選択と集中



パートナー・ネットワーク強化

パートナーとの連携拡大 + 戦略的提携・出資
 “Think&Act”の事業領域を拡大



③ 連携パートナー会社

- 協働レバレッジで事業拡大
- 戦略的提携・出資

A. 事業管理・実証パートナー

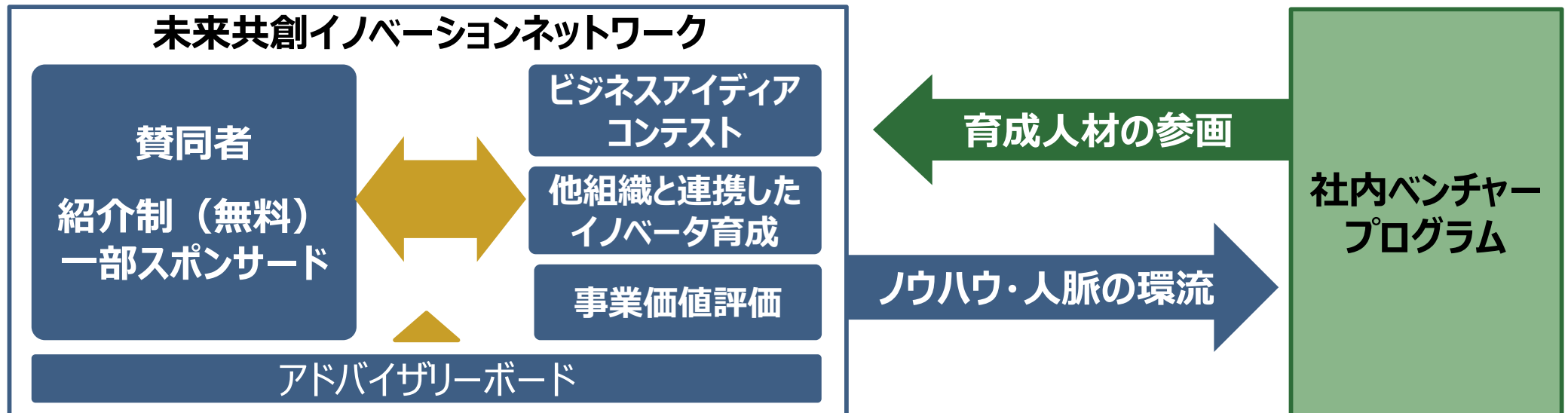
B. 新規事業パートナー

C. ITサービスパートナー

未来共創イノベーションネットワーク

社会課題をビジネスで解決するプラットフォームを構築・推進

- “21世紀型課題解決モデル” = 世界的に重要な社会課題に対し、イノベーションによる解決策をデザインし、民間のビジネスモデルのなかで実践
- 課題解決→未来共創に向けた“オープンイノベーションネットワーク”を設立（2017年）



ネットワーク
拡大

構想実現強化（提言力＋実現力）

新しい事業機会の増大（特にAct事業）

既存事業の遂行力と人財育成力の強化（ナレッジ蓄積＋ノウハウ獲得）

社会課題を解決するリーディング・シンクタンクとしてのブランド力の向上

将来の見通しに関する注意事項

この資料は、将来の見通しに関する記述を含んでいます。予想値を含めこれら将来の見通しに関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいた当社の判断によるものです。

こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、予測困難なリスクや不確実性を内包するものです。したがって、実際の業績等は、これら種々の要因によって見通しと異なる結果となることがあります。

当社は、将来の事象や新たな情報等を反映して、将来の見通しに関する記述を更新したり改訂したりする義務を負いません。



株式会社三菱総合研究所

経理財務部 IR室

TEL	: 03-6705-6001
FAX	: 03-5157-2171
E-mail	: ir-info@mri.co.jp
URL	: http://www.mri.co.jp/